



大地第 101 号  
平成19年5月1日

国土交通省道路局長 殿

大河原町長 齋 清志



### 道路整備に関する中期計画の意見について（回答）

平素より一般国道4号「金ヶ瀬拡幅事業」の整備等につきまして、特段のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

道路は、我国が活力ある地域社会の形成と、多極分散型国土形成の課題に対応し、経済・文化の発展や、地域間連携や交流による、豊かさゆとりの実感できる生活の実現を図る上で、最も重要な施設であります。

このため道路整備は、地方社会にとって大変重要な施策であり、道路特定財源を一般財源化することなく、必要な財源を確保し、計画的に整備を進めることが、不可欠であると考えているものであります。

しかし、東京の一極集中化による地域間格差の広がる中、本町では高齢者等の安全確保でのバリアフリー化整備・広域連携に伴う幹線道整備・地域の自立と活力あるまちづくりの生活道路整備等が、住民から強く求められているものであります。

地方における道路整備の重要性をご理解いただき、地域間格差の解消や生活者重視の道路整備計画の推進をお願いいたします。

#### 記

##### 1. 重点化を進める上で、特に優先度の高い政策

一般国道は、地震災害が高い確率で憂慮される中で、緊急物資輸送路の確保や、高速道の事故・気象条件による規制時に、これを補完する大きな役割を担っており、一般国道の整備が急がれていると考えます。

##### 2. 効率化を徹底的に進める上で、重視すべきこと

中核医療機関等の有効活用を図り、安全・安心の出来る地域づくりに、広域幹線ネットワークの効果的な整備が必要と考えます。

### 3. その他、道路政策や道路整備・管理全般に関する意見

#### 1) 国道4号「金ヶ瀬拡幅事業」の早期完成について

本町から蔵王町区間は、日交通量が2万5千台にもかかわらず4車線未整備であり、近年の車両大型化により渋滞が著しいものであります、沿線住民の安全確保・良好な生活環境確保のため、早期に4車線整備の完成を要望するものであります。

#### 2) 町道事業に対する補助率の拡大について

国道4号拡幅に伴う交差点設置で、沿線車両の集約化を図るためアクセス町道の拡幅整備が必要となりますが、大変厳しい財政状況下であり、道路特定財源を一般財源化することなく、必要な財源を確保し、町道整備に対する補助率の拡大を要望するものであります。

#### 3) 「道の駅」設置について

「道の駅」は、道路利用者ニーズの多様化に呼応した休憩施設・情報発信施設を兼ね備え、災害時の地域防災拠点としての役割も担うものであります。

本町「金ヶ瀬地区」は、福島県以北130km未設置区間の中間に位置し、白石・村田ICにも近く、4号沿線では「道の駅」設置に最も適しており、更に仙南各市町と連携した「地域連携施設」により、産業の振興と観光開発を図りながら、地域の活性化につなげるものでありますので、国と一体型の設置を要望するものであります。

#### 4) 地方幹線道の整備について

地方幹線道路は、広域連携して地域の活性化や震災等での物資輸送・中核医療施設等を効率的な活用を図るため、大変重要な役割を担っております。

この路線である主要県道「亘理・大河原・川崎線」では、本町区間が狭隘で歩行者の安全確保が困難であると共に、「末広橋」では老朽化により重量制限が行われ、この早期改良・架け替えを期待するものであります。この整備につきまして、宮城県に働きかけを願うものであります。